

## 令和4年度萬鉄五郎運営委員会会議録

### 1 開催日時

令和5年3月14日(火) 午後2時～午後3時50分

### 2 開催場所

花巻市東和総合支所第2会議室

### 3 出席者

#### (1) 出席委員10名

佐々木秀次会長、門馬優子会長職務代理者、杉本吉武委員、阿部久幸委員、齋藤純委員、小笠原卓雄委員、牧野幹委員、菊池房江委員、菊池忠久委員、菅沼緑委員

#### (2) 欠席委員0名

事務局6名(萬鉄五郎記念美術館)

市川部長、平澤館長、佐々木副館長兼生涯学習課長、滝浦上席主査、高橋学芸員、小原学芸員  
事務局(佐々木副館長)

定刻にはまだ早いですけれども皆様出席の皆様おそろいになりましたので、ただいまから萬鉄五郎記念美術館運営委員会を開催いたします。申し遅れました、当館副館長を兼ねております生涯学習課長の佐々木と申します。本日の進行を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

それでは議事に入ります前に、この会議の成立要件についてご説明いたします。この会議は、萬鉄五郎記念美術館管理運営規則第9条第2項の規定によりまして、委員の半数以上の出席により、成立することとなっております。本日10名の方の委員の方々、全員がご出席いただいておりますので、会議が成立することを申し上げます。

続きまして委員の今回改正がございました。ここから会長、それから会長職務代理者の選任になります。会長につきましては、管理運営規則の8条第1項の規定によりまして、委員の互選によりまして、決めることと提示しております。いかが取り計らいましょうか。

(事務局一任の声)

事務局(佐々木副館長)

それでは事務局案としまして、会長に佐々木秀次委員にお願いしたいと考えておりますけれども、いかがでしょうか。

(異議なしの声)

事務局(佐々木副館長)

ありがとうございます。続きまして会長職務代理者を決めることとなりますけれども、これは会長が指名することとなっております。佐々木会長、ご指名ということでお願いいたします。

佐々木秀次会長

それでは会長職務代理者に門馬優子委員を。指名いたしたいと考えますが、いかがでしょうか。

(異議なしの声)

事務局(佐々木副館長)

それでは会長、それから会長職務代理者も決定しましたので、以降次第に沿いまして進めさせていただきます。

早速ではございますけれども、佐々木会長よりご挨拶をお願いいたします。

佐々木秀次会長

佐々木秀次と申します。この運営委員会の会長は平野広さんという方が、ずっとやってこられたと

思うんですけども、体調崩しお辞めになったということもありまして、その後任として、私に回ってきたということでございます。全く初めてでございますし、素人ではございますが、自信も何もありませんが、微力ながら皆様のご協力のもとに努めて参りたい、そう思っております。よろしくお願いたします。

#### 事務局(佐々木副館長)

大変ありがとうございました。それでは生涯学習部市川部長よりご挨拶申し上げます。

#### 事務局(市川部長)

皆さんこんにちは。今日ご出席を賜りまして大変ありがとうございます。年度末のお忙しいところですね、おいでいただきましてありがとうございます。コロナ禍、大分落ち着いて昨日からマスクをしなくてもいい、自分で判断してくれというような、お達しが出ているわけですけども、なかなかまだ外せないんじゃないかというふうに考えております。まだ感染者がいるという状況の中で、また来年度も注意していろいろ事業をしていかなければいけないかなというふうに考えているところであります。萬鉄五郎記念美術館では、昨年度いろんな事業をやってきたところです。コロナ禍の中でもですね、やはりいい企画展をすれば人が来ると考えており、市内の記念館、他に比べても萬美術館はあまり入館者数が落ちないで人が来ているっていう状況もあります。そういうところで、皆様方からのご意見を聞きながら、またいい企画展をして、市民の関心を深めていって欲しいですし、特に若い人たち、子供たちに刺激を与えるような、企画展がとていいものになっているというふうに感じております。皆様方のご指導を賜りたいというふうに思います。懸案となっておりました収蔵庫につきましても、大きくはありませんけども、旧土沢小学校を活用いたしまして、作ることができました。あと、美術館本体でも空調等の改修などしていきたいという考えております。なかなか施設がたくさん市でもありましてですね、大きな改修は非常に難しいところがありまして、少しずついろいろな施設を直しているというところでもありますけども、皆様方のご意見をいただきながら、いい施設としてこれからも継続していきたいというふうに考えておりますので、今日はどうぞよろしくお願いたします。

#### 事務局(佐々木副館長)

当美術館館長平澤からご挨拶申し上げます。

#### 事務局(平澤館長)

まず今年度4月から館長を就任の命をいただきました。平澤広と申します。どうぞよろしくお願いたします。

コロナ禍で、20年から今年23年まで丸3年間コロナで、どこの施設も全体が自粛ムードで、特に今年は緩くなったんですけども、20年、21年は結構厳しくて、展覧会そのものが中止になったり延期になったりしました。当美術館の場合は、例えば、20年の3月に始まった浅沼弘展が、1日だけで閉会するというようなことがありまして、これはちょっとかわいそうだなってということで、翌年の同じ時期にもう一度開催しました。また宇津宮功さんの展覧会と五味太郎さんの展覧会もこれも延期ってということで1年延ばしになりました。その関係でその次の年に計画していた橋場あやさんの展覧会も1年延ばしとなり、今年の秋の開催となりました。そういうふうな形で、できるだけ中止じゃなくて、延期という形で開催して、ようやく何とか今年度になって、軌道を取り戻したというような感じです。今部長が話したように、それほど入館者数をぐっと落ちているわけじゃなくていい展覧会すると結構入館者ありますし、入館した方々が好印象の意見を言ってくれる。それが糧となって展覧会をやっているということもあります。現在も、先週から始まった大宮政郎さんの追悼展をやっています。委員の皆さんはご存知だと思いますけども、去年の11月に亡くなって3月に追悼展を開催するというこ

とは、実は公立美術館ではありえない企画です。本来は1年後ぐらい、来年のこの時期っていうのはあると思うんです。どうして開催できたかといいますと、うちの美術館は彼の作品をずっと整理してたっていう経緯があったので、作品の中からどれをチョイスして、どれを展示するというのはすぐできたものですから、ある程度時期を逸しないで今の時期やった方が彼を偲ぶという形で開催に至ったということです。

本来は美術館の収蔵品をメインにしたテーマ展だったんですけども、収蔵品を使っていますので、当館のテーマ展という位置づけです。今までにないぐらいの650点という点数の作品を飾っています。皆さんでできれば見て欲しい。今日じゃなくてもいいんですけども、普通の大きな大美術館でも300点がいいところなので、その倍以上展示していますから、当館の美術館にこのくらい飾れたなというぐらいで、みんな驚かれて。始まった日に来たお客さんなんかは1回位見ただけでちょっと酔ってしまったので帰ります、もう1回来ますっていう人がいたようです。ぜひ、一度ご覧になっていただきたいと思います。いろいろこの3年間、コロナの関係でご心配かけたこと、お詫び申し上げながら、ぜひ今日のご検討願いたいと思います。

#### 事務局(佐々木副館長)

今回委員が改選されております。もしよろしければ委員のお一人ずつ、自己紹介ということで改めてお願いいたします。

#### <各委員から自己紹介>

#### 事務局(佐々木副館長)

本日萬鉄五郎記念美術館の職員としまして、滝浦と、高橋と小原で行っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは。議事の方に入らせていただきます。この後の議事の進行につきましては、萬鉄五郎記念美術館管理規則第8条第2項の規程で佐々木会長に議長をお願いして、進行をお願いいたします。

#### 佐々木秀次会長

それでは議事に入ります。報告事項、令和4年度、萬鉄五郎記念美術館の運営状況について、事務局から、説明をお願いします。

<事務局より基本方針と実績概況、展覧会事業、教育普及事業、管理運営事業について説明>

#### 佐々木秀次会長

事務局から説明がありましたがご意見、ご質問等ありましたらお願いします。

#### 菊池忠久委員

事業報告いただきましたけど、コロナ禍で事業が中止される中、市内児童写生会、これを中止せずに、家庭で描いたものを応募という形でしていただいたことは、非常によかったと思っています。一つ質問ですが、五味太郎作品展、これは経費的に幾らかかっているのですか。

#### 平澤館長

委託料はおおよそ350万です。入場料を見ると大体、200万ぐらいですね。本来は黒字にしたい展覧会ですがやっぱりコロナの影響で思ったより入りませんでしたね。9000人ぐらいは見込んでいたんですが、いつもだとそれぐらい入る展覧会だったと思いますが。

#### 菊池房江委員

長年の懸案であった収蔵庫が完成して、今このコロナ禍でずっとこう集まる機会がなくて、その辺でやりとりしてきて、もし私たちもできたときには、ぜひその収蔵庫をもし見学させていただけるこ

とがあればみたいな話をちょっと前からあったんですが、この作品は全部収蔵されて、全部今、2ヶ所からのものが入ってしまったら、特別に例えば委員の皆さんを見ていただくとかってことはできるのでしょうか。ここの収蔵庫はないからずっと何年もずっと懸案だったので、本当にいい形ででき上がって、この保存状態が本当にいい状態で、せつかくの大事な美術品収蔵庫としての役割を、多分担っていけるものだと思うので。すごくそのでき上がったところに関心がありまして、もし見せていただけるのであればということで、本当はこの多分完成した時に、コロナ禍でなければ、皆さんとご覧になれるような形になったんだろうなと思いながら、書面ででき上がりましたっていうのをいただいた時によかったなと思って。ぜひ1度はどんなふうな形ででき上がったのか見せていただきたいなと思ってました。

#### 平澤館長

どうぞご覧いただきたいと思います。他にもご希望の方いらっしゃいましたら、この会議のあとにご案内します。

#### 菊池忠久委員

ハイビジョンソフト上映出前講座というのは、利用がないということなんですが、これ意見になるかちょっとわかりませんが、私コミュニティやってまして。今年度コミュニティセンターの一角に、芸術に触れる、鑑賞サロンということで内部を整備して、まず地元の人たちの作品ということで、八重樫理彦さん。それから宮沢賢治のイラスト描いている地域おこし協力隊の塩野夕子さん。ルンビニー美術館からは、パラリンピックでデザインをやった高橋南さん、佐々木早苗さんの作品を展示して、コミュニティセンターでも芸術に触れるチャンスを作ろうという形でやっています。

先日開催した宿場のひな祭りのときは博物館から平澤屏山の屏風絵を借りて、レプリカですけども展示しました。普通で博物館に行かなければ見れないものが、身近なコミュニティの施設で見れるような形で進める。それで、今後は、地元に限らず花巻にいろんな芸術家がおりますので、そういう方たちの作品を見つけていきたい。そこでこちらの萬鉄五郎記念美術館さんの方で、萬の作品のレプリカを、コミュニティのミニギャラリーとか、それから市役所の支所ギャラリーとか4図書館など色々な所に貸し出すという計画はありますか。

#### 平澤館長

今のところ全く計画はなくて多分それも可能だろうなと思って聞きました。レプリカを貸すっていうのは可能です。

大迫のいきいき学園で今年萬鉄五郎と、あと平澤屏山の話をしてきまして。そういう形で使ってもらえれば、できる範囲での協力は可能ですので、萬作品のレプリカは全部あるわけじゃないので、それほど分量になるかどうかは相談ですね。

#### 菊池忠久委員

レプリカを展示することで、萬作品が身近になって、それでこの美術館に足を運ぶというのあるんじゃないかと思います。ご紹介いただいてやりたいと思ってます。

#### 斎藤純委員

今度空調直すでしょ。石神の丘は来月、やはり空調交換するので、長期間休むんですけども。それが前の年にとっておいた見積もりから。1.7倍か、1.8倍、ほとんど二倍近くやはり値上がり上がったね。こちらは大丈夫ですか。

#### 事務局(佐々木副館長)

今のところ、設計段階での見積もりの時点で、そのような話は受けてませんので、何とか大丈夫かな。

## 平澤館長

値上がりしてからの見積もりになってんじゃないかと思います。昨年のだいぶ後半の方に、設計の完了が12月で値上がりした後ですね。

## 牧野幹委員

先ほど自己紹介させていただいたんですけども、絵本の原画展をすごく楽しみにしています。それで、小中学生或いは高校生は、どの程度この展覧会に来てくださってるのかなっていうのをお聞きしたいです。それから、高校の先生から、今回の展覧会ではなかったんですけども、保育コースの生徒を連れて、絵本の原画に触れさせるために企画展に行ってますということもお聞きしているので、若い人たちに入館してほしいなと思っています。

## 事務局（滝浦上席主査）

資料に年度ごとの入館者数というのがございます。7月から9月にかけて絵本作家の方の原画展があり、同時期になりますので、やっぱりこの時期になりますと小中学生、高校生大学生入館者が増えます。令和2年は絵本原画展やっておりませんので違いますけれども、令和3年は7月から10月の3日にかけて、宮西達也さんの絵本原画がありました。ただ途中ちょっと休館の期間がありました。やっぱりその時期にやはり小中学生さん高校生さん増えますし、遠野との広域連携事業というのをやっておりまして、遠野の小中学生さんも、花巻市で発行してます、キャンパスカードと同じようなものが、遠野でも出ておりまして、それをこちらでも出していただくと無料でご覧いただけるという事業をやっておりますので。それもありませんと小中学生は今回絵本原画展の期間中だと300人ぐらい入館しています。

## 阿部久幸委員

学校現場から言いますと、非常にですね、今お話を聞いて私は美術に対してすごく疎い方なので、学校も隣にありながらなかなかコロナなんていうこともあったりしてなかなか美術館に足を運ぶのも、本当に1回か2回ぐらいしかなかったんですが、今学校現場では生徒たちが授業をする、美術の授業を受けるのが週せいぜい1時間ちょっと程度でして、今あと学校現場で問題になっているのは、その美術の免許を持っている先生方が配置されている学校がないところが結構あるんです。この東和中学校、美術館の横にある東和中学校ですら、一昨年はですね美術の免許を持たれてる方は配置ならなくて、美術の免許を持っていない、いわゆる免許前っていう形ですね。授業を教えていただいたとかっていうふうなこともあったりして、これだけたくさんすごいものがある中で、そういう状況があったりして学校現場を見ながらも、ただ、ここに来て見学をするだけでもすごい勉強になるんだなというふうなのを、今日、お話を聞いていて感じましたので、もちろん学校に戻ってから、アナウンスもしたいと思いますが、ぜひ市の校長会とかの方にもですね、毎年夏休み入ったあたりに市の校長先生方が30名ぐらいいるんですが、いろいろな花巻市にある美術館なり施設なりそういったようなところを回ったりするような、機会がありますのでその中にぜひこの記念美術館を入れてですね、実際に校長先生方に見ていただいて、より多くの子供たちに素晴らしいものに目が触れられるような機会をつくれればいいのかなあということを感じて聞いておりました。以上です。

## 斎藤純委員

美術の時間がなくなってるってことと、美術の先生も、なんか1人で兼任であちこち行ってらっしゃるっていうのは、それはもう何年も前から、聞いてるんですけども、ほぼ10年前に石神の丘美術館に招かれた時に、岩手町の小中の校長先生たちの集まりに呼ばれてまして、講演会したんですけども、その時に僕がお話したのは、美術館に行くのは美術の勉強のためじゃないって話をしたんです。社会、小学校でいうと社会の勉強もなるし。歴史の勉強にもやろうと思えばね。見せ方の問題、受け取り方

の問題で、感想文を書かせれば、国語の勉強にもなる。いや、校長先生僕説教をしたんですよ。美術館が美術の勉強の場と思われちゃ困る。美術家を育てる場だと思われたら困る。感性を育てる場だと。学校の先生がそれじゃ困るという話をしたんですけれども、それでも来てくれませんでした。その後、教育長が変わった時に、その方も、俺は美術には興味がないからって言って、美術館にそれでも足は運んでくださったときに、こんなに楽しいところだと思わなかった。岩手町に良いところがあるのに、子供達見せないのは、これはまずいって言うので、岩手町の小中高は必ず年1回石神の丘美術館に足を運ぶようにというほとんど命令に近いようなお願いを出しました。その結果、まずほとんどの学校が、くるようになりまして。今教育長が変わったもんですから、ちょっとこない学校も出てきたんですけれども。阿部先生ぜひですね、お帰りになったらですね。美術館は美術の場じゃないぞっていう話をね、していただければと思います。

#### 事務局（平澤館長）

ちょっと提案なんですけども、やっぱり学校は、とにかく今結構スケジュールで大変だと思うんです。その授業時間連れてくるとか、ちゃんと課外授業で、来館するそれは結構大変なんじゃないかと僕は思ってまして。下校の時にちょっと寄るような形でお誘いの言葉を子供たちにかけてくれればなと思っています。気軽に5分でも10分でも見てくると。そういう感じで、美術館は構いませんので。気軽に、登下校の間にちょっと寄るって言うような生徒たちが増えてくれれば嬉しいなと思っています。

#### 菊池房江委員

すいません。私もまなびキャンパスカードって今でも置いてね。そうすると校長会の時に、キャンパスカードっていうのが、本当にこの館の特色で、ご父兄と子供さんとセットで、何か見れるものがあるって、特別なものがあるって。そうすると、それを使う。例えば校長会のところで、この施設はまなびキャンパスカード使えますよって言うことで、それこそご父兄の方も子供さんと一緒にみんな家族で足を運ぶ。こういう機会を大事にしていければ、子供さんだけっていう、言ってもなかなかあれだと思ってしまうので、逆に親子でキャンパスカードを使って、いろんなそういうものが、せっかくここにあるので。あとはさっきのなんかすごいいいですね、遠野と一緒に共通のキャンパスカードとか何とか、いろんなものがあるって言うことも、やっぱりいろんなところと一緒にあって、美術館は特別なところじゃなくて本当に皆が楽しく、本当にちょっと足を向けて、行けるところっていうか、そういう場所であれば、本当に理想的だと思うんですけど、とてもいいものがあるので、そういうものもちょっと表に出していただければと思います。

#### 菊池忠久委員

すいません。キャンパスカードの他に市内の小中学生は、無料じゃないですか。

#### 事務局（佐々木副館長）

まなびキャンパスカードっていうのが今、皆さんの小学校中学校の小学校一年生の時に生涯学習課で発行をしております。その中で萬鉄五郎記念美術館も含めまして、例えば、賢治記念館とか新渡戸記念館とかもそうなんですけれども、そちらの方が土日にお子さんと親御さん1人が無料の設定です。ですので、すいません。土日と長期休みにそういう制度があります。入学と同時にもらえますので、持っていらっしやると思いますので、ぜひご利用いただければなという制度であります。

#### 事務局（平澤館長）

展覧会ごとにまとめて、中学生がこのくらい来ましたよと、後で申請してまとめたやつを、団体入館無料申請っていう形で、取りまとめたいと思います。

#### 菊池忠久委員

提案です。そういう面倒なことをしないで、市内の小中学生は、平日でも子供同士でも観れる形に

した方が良いです。そうすると下校の時に見れる。せつかく近くに学校があるわけですよ。そういう形にしたほうが一番いいんじゃないかなと思います。

#### 事務局(市川部長)

はい。そうですね。いいアイデアだと思う。例えば例としてはですね、高村光太郎記念館の周辺の太田地区の方は、減免申請をして、入るようにしてるんですよ。それはやっぱり高村光太郎や山荘を守ってきた周辺の方々がお金出して入るっていうのはどうなんだろうっていうのがあって。いろんな企画展やったときには、手伝ってもらったりしながら、無料で入ってもらえるようにとかっていうのはきちんとした手続きをとってやったりしてます。いろいろ、ちょっと考えさせてください。できれば地元の小中高、そういう生徒たちの教育の一環で無料で見れる。企画の機会を作っていただければ。

#### 佐々木秀次会長

この問題に関しては、かつて私も20年、何年前に関わったっていいですか。ずいぶん行政もすっかり変わってしまったなということで今、痛感したというか、感じました。

#### 杉本吉武委員

花巻市は、宮沢賢治記文学というのは余りにも幅広く、アート全体の人なんだけど。萬ここ、これで県外のお客さんは結構観光客が花巻市を訪れた時、やっぱり賢治記念館もあるんで、とりあえずは同じ文学美術好きな人は、どっちもあるんだけど。その時に何かこう、同じチケットでね。割引ちょっと。まず賢治記念館。1割とか、それで萬鉄五郎記念美術館も同じ比率で割引してあるっていう。2回もまわれるように。1ヶ所で、文学だけで帰る人もいる。けど、要するに、来た人だってもう、文学はちょっとといってもやっぱり、もう余りにも巨人の人たちだから、どっちの世界も、こういう見て、より実態的にこう見れるっていうかそういう時代に入ってきてると思うんですけど。知らない人がわかりかし文学美術ってこうやると、どうしてもそっちの方、お互いに見ないで変えたりする。それをセットで何か、見れるようなそのためには、ちょっと割引をしてある。2館で見た人には、何%というふうなチケットを用意してね。考えれば面白いと思うんだけど、いろいろこう、セクション上難しい問題もあると思うんですけど。その辺のことも考えてたからはあるんですけど、そういうふうな時代に入ってきてるんじゃない。その他、新渡戸記念館などとか、いろいろ結びつけば1回、半日も1日でも花巻市、長くいるっていうかそういう考えでもいいんじゃないかなとふと思ったりしてます。

#### 杉本吉武委員

花巻市には、宮沢賢治記念館もあり、県外のお客さんが観光客として花巻市を訪れた時、その時に何かこう、同じチケットで割引してあげる。まず賢治記念館で1割とか、それで萬鉄五郎記念美術館も同じ比率で割引してあるっていう。2回まわれるように。1ヶ所で、賢治記念館で文学分野だけ見て帰る人もいる。賢治記念館と萬鉄五郎記念美術館をセットで見れるようにするためには、ちょっと割引をしてある。2館で見た人には、何%というふうなチケットを用意してね。考えれば面白いと思うんだけど、いろいろこう、部署の違いがあり難しい問題もあると思うんですけど。その他、花巻新渡戸記念館などとか、いろいろ結びつけば1回、半日も1日でも花巻市、長くいるっていうかそういう考えでもいいんじゃないかなと思ったりしてます。

#### 事務局(市川部長)

共通券についてお答えしますと、博物館、賢治記念館、童話村と新渡戸記念館の4館までは2館3館4館の共通券っていうのがあります。それに萬鉄五郎記念美術館は入ってません。あと高村光太郎記念館も入ってないです。そこはやっぱり位置的な関係があるのかなと思いますし、或いはどこまで

入れるというふうになるか、石鳥谷とか大迫にもありますし、どこまで入れるのかっていうのはやっぱりあろうかなと思います。そこはいろいろ考えつつやってて観光業者の方とかですね、観光課と相談しながらやってるとこなんで。例えばバスの運行とかですね、バス利用者を増やすために、土沢線のバスを使った場合には、美術館や宮沢賢治記念館に無料で入館できます。しかしあんまりそういうことがあってもそれほど来ない。

事務局(平澤館長) あまり浸透していないかもしれない。

杉本吉武委員 萬鉄五郎記念美術館と宮沢賢治記念館ってのはもう近いでしょ。

事務局(市川部長)

賢治記念館と新渡戸記念館はもっと近いわけですけども、だからといってそこに行くわけではない。何も2ヶ所を連携させながらってこの2ヶ所に行くっていうわけじゃなくてやっぱり自分の好みでいきますんで。そこはいろいろ考えながらやりたいと思います。ご意見としてお聞きしていきたいと思います。過去、どっちかっていうと我々は生涯学習部として地域の人の社会教育的な施設っていう位置付けがあります。あと全体としては観光行政的に観光課の方で中央から呼ぶとかいろいろ、例えばそのチケットも買わないであとから払うとかですね、JTBとかそういう業者に払うシステムなんかもあるの観光課で考えて。我々もいろいろそこは、観光担当と話しながらやっていきたいと思しますので、ありがとうございます。

佐々木会長 青森でしたっけ？寺山修司の。あそこは3館だけ共通券ありましたね。

菅沼緑委員

青森国際芸術センターの館長だった浜田さんが言ってたのは、図書館は無料、入場料取らない。美術館や博物館とかはお金がかかるんだっていうようなこと言って、国際芸術センターは入場無料なんですよね。そういうことが、最近の、どこに何回も私もエゴンシーレとか見に行きたいけども、高いんですよね。無料にしたらエゴンシーレなんか大変なことだ。入場制限になるぐらいだろうと思うけれども、文化を広めるといって、多くの人に触れてもらうためには、そういうようなことも必要なんじゃないかなっていう気が個人的にはいつもしてるんですけど。

斎藤純委員

法律上っていうか、こういう文化施設の法律とかそういうのには無料が望ましいとはちゃんと書いてあるんですよ。けれども、今、両論併記で、でも経費ぐらいは自分たちで稼げよっていうのが、後からくっついてきたんですよ。それで、有料のところが増えてきたのと、高い価格設定するところも増えてきたんですよ。もう今だから受益者負担というのが、普通のコンセンサスやってきたので、これから無料にするっていうのは、その分他を削らなくちゃいけない予算。或いは、全員に対する、税金をあげなくちゃならない文化施設のために、そういうことなんですよ。

菅沼緑委員

直接的な受益っていうのは、見る管理費と落差になるでしょうけれども。そうやってこう広がった文化が全体的に、レベルが上がる、国の利益にもなるんじゃないかなって言うふうに。

杉本吉武委員

だってルーブルだって日曜日は無料だよ。流れてる予算だから国家予算の話になってしまう。そういうふうな国が熟成してればっていうけど、ここだってね、日曜日無料とか、賢治記念館、そうしたら、集客はずごく来るし、その関連のレストランとかそういうのをちゃんと管理してれば、年中すごいお客さん来ると。考え方一つでね、やってみればね。賢治デーとか、命日は無料開放とかね。そこから始まって、広げていけば。

斎藤純委員 また東北文化の日は各館の無料になってませんか。



## 事務局(市川部長)

必ずしも今無料だからといって、どっと来るかっていうとそういう感じではないというのがありませんよね、我々今までやってきて賢治記念館なんかも20万、最大では30万人が平成8年に来てますけど今10万人。コロナでだって5万人ぐらいのところですけども、それでも、県内ではかなりきてます。でもやっぱりそれって賢治記念館だけなんです。他の高村光太郎記念館にしても1万5000人ぐらいにとか。ここもきてる方だと思いますよ結構。やっぱり人って昔みたいに、バスでダーッと来るような、人口も減ってきてるっていうのもあります。自分が好きなものを見に行く。好きな展覧会を見に行く。それはお金出しても見に来る。というような流れになってきてるかなっていうのがあって、安ければ来るかっていうのもそんな感じもないような気もするし。そこは考えますよね。やっぱりさすがにうちで2000円規模の展覧会と言ってもこないと思うので、そこは値段も考えながらやっぱりやっていますし。賢治記念館とか一般350円はずっと据え置きですか。最初からですね。そういう金額で運営してますし。特別高いということではないんだろうと思うので、その辺りは周りを見ながらですね、考えていかなきゃいけないかなと思いますね。まず、やっぱり今、受益者負担っていう考え方はかなり広まっていますし、国としても人口減ってる中で、税収が全く増えてないそういう中で、市もそんなんですが、設備は維持して空調直したりとか整備をしていかなきゃいけないという面もありますし、料金取らないというわけにもいかない。

## 小笠原卓雄委員

やっぱり企画の面白さっていうのは大事だと思うんですね。今年度は小田島孤舟展がありました、ああいうのはあれで、非常に面白かったですね。同時代の方がどういう活躍をして、彼とどういう交友関係があったかというのがよくわかって、孤舟展は、いい企画だったなと思いました。ちょっと人数は入らなかったようですが、来た人は非常にいろんなことを感じていたんじゃないかなと思います。そういうレベルのものも必要だし、それから若いお母さんとか子供たちも一緒に見れるような絵本展とかそういうのも必要だし、やっぱりメリハリのある企画をすれば、それなりに人が来て、それなりにいろんなことを感じていくと思う。そこを大事にし、これからも大事にしていって欲しいと思います。それからさっきちょっと触れましたが、やっぱり萬は先進的なことをやって、日本美術界にインパクトをもたらしたわけですので。今、いろんなことを実験的にやってる人とかですねそういう人に、発表機会を持ってですね。あと八丁土蔵ももう少しPRをして、見せていただきたいなと思います。これ本当に楽しみにしていますので、ぜひ、今年も来年度いい企画をしていただきたいと思います。

## 門馬優子委員

私も学校教育の中で美術教育が、どんどんこう力を失ってっていうか、すごく寂しい思いをしながら近年見てますけれども。子供たちって昔の子供とそんなに違ってないと思うんですね。今年度学童の小学校3年生に短い時間でしたけれども5回にわたって、アート教室みたいなものを担当したんですけども、今、学童はものすごくお子さん達多くて、3年生でも30人ぐらいいるんです東和町で、それでたった正味3、40分の中身なんですけど、3年生の無邪気な子供たちは、すごく食いつきが良くて、こういう時期の子供たちに、いろんな意味で、鉄五郎の世界とか、萬でやってる展覧会なんかを見せたら、どんな反応するかなと思いました。30人の子供たちが、1度に美術館中に入ったら多分、すごくやかましいと思うんですけど、先ほどの館長さんのお話もあって、多少うるさくても全然OKっていうお話もありました。子供たちの様子を見ながら、とりあえず学童の先生に声をかけて、長期の休みの時間にでもおじゃまできればと思います。

事務局(平澤館長) お願いします。

## 門馬優子委員

はい。それから見た方の感想ってすごく率直なものが多かったのにびっくりしました。その中でロッカーですね、できれば、受付に声をかけられる方はいいですけどかけることができない方もおられるのではないのでしょうか。やっぱりロッカーがあったらなって思うんですね。あまり数多くなくてもいいので、設置をしてくれればと思います。

佐々木会長

続きまして諮問事項。令和5年度萬鉄五郎記念美術館。運営計画について、お願いたいと思います。事務局からご説明よろしくをお願いします。

〈事務局から概況及び展覧会事業、教育普及事業、管理運営関係を説明〉

佐々木秀次会長

ありがとうございます。ただいま説明ありましたが、ご意見ご質問等何かありましたらお願いします。何かありますか。

菊池忠久委員

ハイビジョンソフトの上映ですが、以前私の意見で美術館内でDVDを流すことに取り組んでいただいております。このハイビジョンソフト上映出前講座事業、実績がなく、利用者なしとでくるので気になっている。先ほど言ったレプリカ貸出をある程度事業として取り組むことは、美術館の実績に変えることができるのではないかと私は思うんです。ですからそれを考えていただいて、そうすれば毎回事業を計画して、実績なしというよりも、レプリカの貸し出しという新たな事業に取り組んでもらえれば、実績が上がると思います。

それともう一つ、八丁土蔵の展示の事業なんですけれども、県立美術館で八重樫理彦さんはじめ『IMAをうつす7人の岩手の若手の美術家』の展示がありましたが、そういう形で、八丁土蔵で展示している方々の作品をまとめて本館の方で展示する。そうすると今まで見なかった作品を一堂に会して見れるし、正直言って素人の私からすると、7人の中味が違うような芸術を一度に見れるのはお得感があるんです。一人の作品をずっと見るのではなく。そう考えると、本館の方でも八丁土蔵でやっていた展示の作品を、たとえば令和4年に八丁土蔵でやった展示を令和5年にまとめて一回でやるという形で入場料とってやればいいのかと思ったのですが、よければ次回計画してもらえればなと思っております。

事務局（平澤館長） 検討します

佐々木秀次会長

ありがとうございます。他はありませんか。ないのであれば端の方から1人ずつお願いします。齋藤純委員 安野光雅展楽しみです。これは人が入るのではないのでしょうか。

佐々木秀次会長 前にもやりましたよね。

事務局（平澤館長）

前にもやりましたがどのくらい入館者があるかはちょっと不安ですが、できる限り宣伝します。

菅沼緑委員

以前の萬美術館では前衛的な展覧会、作品の発表も度々あったと思うですけど、最近は、昔の作家の顕彰をするというような傾向が強いような気がしているんですけども、地域の作家でなくても、美術の世界である程度レベルの高い作家の展覧会を地域の人たちにも知ってもらおうという意味で、そういうことがもっと増えるといいなと常々思っているんですけども、検討していただければと思います。

事務局（平澤館長）

確かに、おっしゃったとおり、岩手の近代、現代、ご高齢の作家に傾いてきた傾向はこの7年間あ

ります。意図的にやっています。といのは、皆さんもう亡くなって、ご遺族もだいぶ高齢化になっていたりとか、資料が消えそうな人たちがいまして、それをいま辿らないと、資料や作品を捨てるとか危険性の高い作家さんが多いです。それをとにかく急遽やり、7年間それで食い止めている作家さんはいい作家さんなので、意図的にやっています。作家さんもいい年ですし、そのご遺族もいい年になっているというのもあって。

おっしゃられているように日本を代表するとか、世界的な作家さんというのも今後は積極的に取り組んでいきたいと思います。ただし、それにはお金がかかります。うちだけでは出来ないで、巡回展というような形になると思います。そのためにはそれなりのスタッフが必要になってきて何館かで何年越しという形になります。現代作家でもそうなります。金額的にも上がりますから、その辺はうまく調整をしなければなりませんし、萬という存在はそういうひとでしたから、今後はそっちの方に積極的に取り組んで行きたいなと思っております。

菅沼緑委員 ぜひ。よろしくをお願いします。

牧野幹委員

マンガでたどる萬鉄五郎の生涯というのはとてもキャッチーだなと思い、興味深く思っておりました。この漫画家さんとかイラストレーターさんは県内の方とか市内の方ですか。

事務局（平澤館長） 我がスタッフがつくれます。

牧野幹委員 楽しみです。

菊池房江委員

萬鉄五郎記念美術館の企画力のすごさは、今見てきた大宮政郎展の600何点の作品をものすごくいい感じで、なんとというか見せ方が上手で、これってすごいなと思っております。これから様々な企画展を巡回展も含めてもってこられると思うんですけども、こういうものに対して、せっかくだからアナウンスを上手にしていく、もったいない、これだけの展覧会を、そこをどうすれば花巻エリアだけでなく、県外、全国いろんなところからお客さんを呼べるのか、その辺もいろんな形で考えていけたらなと思います。

事務局（平澤館長）

その通りだと思います。ありがとうございます。

今の大宮政郎展は、たまたまチラシを見た他の美術館の館長さんがFacebookに載せて、まだ見ていないのでもいい評価であげていたら、みんなそれに食いついてなんかりして、見た方がFacebookやTwitter、SNSの時代になっているのでそういうのでアピールしてくれると全然食いつきが多くなって、今の展覧会は日曜美術館で放映することになったので、4月だとは思んですけど、やっぱりね、食いつくものは食いついちゃうかんじ。そういう予定になっています。

菊池房江委員

図録もいいですね。私、一冊頂いてきたんですけど、すごくいいなと思ってました。さっき杉本先生が一生懸命図録の件をお話頂いたんですけど、ここでの財産です。

事務局（平澤館長）

そう。図録はね。大宮さんが自分で作った図録なんです。うちでは委託販売を置かせていただいています。

菊池房江委員

そうなんです。でもよかったです。かえってゆっくり楽しみに拝見させていただきます。

阿部久幸委員

昨年度も感じていたんですが、すごい企画力だなあと思っておりました。以上です。

## 杉本吉武委員

大宮さんの展覧会は偶然というか、先日亡くなったばかりなのに、その対応が素早いというかね。大抵、遺作を何点か飾ることはあるんだけど、即 600 点余りをね、まあ、前に扱っていたとはしても、このレスポンスというかね。これは本当に県美とは違うね。それは、組織上そういうふうにあるから。これは全国でも出来ない努力というか、誰も評価するという人はほんと業界の人達だけでね、これが当たり前でそういうふうな展覧会を企画、すぐ場にのせるというのは、学芸員の皆さんはそれぞれ、まあ花巻市の理解度というか。花巻市はほんと文化の宝庫というかね、賢治含めて、分野は違うんだけど、やっぱりそういった気質というか脈々したものがある。やっぱりすぐできるというようなものではないね。100 年 200 年かかって、今やっところこういう時代に花開いたというか、それを益々この機会に幅を広げてね、ネット社会の中にいくらでも新たな発見というか。花巻市に対して出てくるのではないかと。

前はね、狭い画集とか文集とかそういうなものでしか、今は瞬時にして世界中に同じものが見れるという。まだまだ可能性は賢治も萬も新たな発見があると思います。それだけこの美術館の役割というのはすごく広がる思いがします。ネット社会に対応できるように常におくためにも、図録がものを言うんですよね。なければ人は資料としてどういう人かというのを画面だけ見ていたんじゃしょうがないからね。やっぱり作品集というのはすぐ世界中で見れるから、これはすごい価値あると思います。以上です。

## 事務局（平澤館長）

大宮さんのは先程も言ったようにうちのスタッフが地道に調査して、リスト化して画像もあったから、650 点ババババババと私が勝手に選ぶんですけど、選ぶリストがバッチリ出来ているので、じゃないと何処に何があるか。普通はね。その辺花巻市が理解あるから、それに調査するスタッフが優秀なスタッフがいるから出来ることですね。

## 小笠原卓雄委員

八丁土蔵ですけれども、やっぱり作品展示するにはちょっと貧弱になってきたなという感じがします。もう少し改修が必要だなと感じております。それから、花巻市内にですね、だんだんにこのサテライトを作って例えば、図書館の様なところにサテライトをつくって、そこを訪れると本館では何をしています。こういうふうなのが展示されています。というのがすぐ紹介して見れるというふうなね。いまデジタルで綺麗に画像が出ますから、そういう大きいので見せて、じゃあちょっと行ってみるかな。とか。

やっぱり花巻と東和町では来た人にとっては遠くに感じる人もいると思うんですよね。ちょっとあそこまでいくのもなんだなあ。でも、行ってみるかなと、ふと思う。あるいは花巻市の市内の人達にもリアルにわかるようなそういうサテライトをつくった方がいいのではないかという気がしています。それは生涯学習課のほうで見通しを。どんな感じなんでしょうね。

## 事務局（市川部長）

はい。いま新しい図書館を考えてまして、それはまだ場所が決まらない。中身はだいたい決まってきたんですけども、駅前にしようというのと、総合花巻病院の跡地にしようという意見 2 つに絞られてきています。その図書館の中にいま仮に、多目的ギャラリーというようなコーナーの設置も考えてまして、ある程度なにか展示したりするコーナーとかを考えています。その他に、ロビーなんかも広くとっていますので、そういうところで何か展示して、これまで議員の皆さんのなかの意見でも賢治の紹介して賢治記念館に呼ぶとかですね、高村光太郎も展示しながら、こういう企画展もやっているよと紹介しながら、市民とか観光客にも知らせたほうがいいんじゃないかというようなご意

見もいただいておりますので、検討していきたいというふうを考えているところです。ありがとうございました。

#### 門馬優子委員

先程の運営状況の時も、お話にのぼりましたけれども、入場券を工夫なさって各館回れるですとか、しかし、実際にちゃんと展覧会を見ようと思うと、せいぜい2館しか回れないんです。孤舟さんの時も、文章なんか読んでいたりするともものすごく疲れますし、橋場さんも膨大な作品数でしたし、大宮さんもしかりです。当日中に何館を回れば有効ですというのはあまり現実的ではないんじゃないのかなと思いました。

気に入った展覧会には何回も足をはこびたい。そういう人もいるんじゃないかと思しますので、リピーターを増やすための工夫といえますか。チケット面でもいいかもしれませんし、優遇の何かアイデアがあればいいなと思いました。

#### 小笠原卓雄委員

遠野のなんでしたっけ？古いものを集めている場所は。土淵の伝承園は前のチケットを持っていくと、半額にしてくれたりする。そういうのありますね。

齋藤純委員 金沢21世紀美術館はリピーターの割引制度やっていますよ。

#### 小笠原卓雄委員

前のチケットを持て行くと2回目は安くしてくれる。そういう手もあるなど。

齋藤純委員 大宮展は必要かもしれないね。

菊池房江委員 南昌荘も3枚だけ持っていけば無料になるとか。

齋藤純委員 そういうポイント制度みたいなね。

菊池房江委員 なんか割引とか安くなるとね

#### 齋藤純委員

リピートが人を連れてくると思うんですよね。だからタダにしでもいいと思う。3人連れてきたらタダです。というような。

#### 佐々木秀次会長

ありがとうございました。これで終了したいと思います。皆様ご協力ありがとうございました。

#### 事務局(佐々木副館長)

ありがとうございます。次第の方はこれで全てになります。

その他ですが、事務局の方では特に用意していませんが、皆様の方でなにかございますか。大丈夫でしょうか。

本日は大変貴重なご意見、それからお褒めの言葉もたくさんいただきました。

以上をもちまして萬鉄五郎記念美術館運営委員会を閉会いたします。ありがとうございました。